

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	抱返り紅葉祭開催費補助金					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作成者	石橋良晴
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	テンミリオン計画の推進				29
予 算 費 目	一 般 会 計	7 款 商 工 費	1 項 商 工 費	3 目 観 光 費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	観光客のため、県内外に広く宣伝しながら、一層の観光客誘致を図る。 車で来る観光客が多いため、臨時駐車場を開設し、交通混雑の緩和を図る。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	優れた景観を県内外に広く宣伝し、誘客を図りながら、広域観光の拠点となっている 県立自然公園のイメージアップを図るとともに、地域間の交流や地域振興と活性化に努める。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	安全祈願祭、芸能、渓谷散策会、お茶会を主行事として行い、その他に誘客宣伝、 施設の装飾、看板の設置、臨時駐車場の開設を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	観光客数	人	152,000	107,952
	成果指標	観光客数対前年比	%	80	71
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			190	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源			190	
	人件費 (B)	—		0	
	職員数	—		0.0	
	職員平均人件費	—		8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—		190	
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—		2	
単位コスト	市民1人当たりのコスト(円)	—		6	

【事務事業の今までの成果】

臨時駐車場の開設により、交通混雑をある程度解消することができた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	秋田県で土砂崩れ復旧工事を実施した。平成19年9月で終了した。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	トイレの充実、交通混雑の解消、危険箇所の整備など

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	抱返り溪谷は年間を通じて紅葉シーズンの来訪客が最も多い。そのため、駐車場の整備、トイレの管理等が不可欠である。事業が無ければ整備等ができなくなってしまう。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

抱返り紅葉祭実行委員会と市の関わり合いの在り方を検討する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	近年、観光客の増加が著しい観光地である。誘客体制や事業内容の見直しなどを進め、地域の活性化に寄与できる事業となるよう努めていただきたい。

一次評価診断図

